

大杉谷

風のたより

平成26年1月（第57号）



== 新年のごあいさつ ==



本年もよろしく願いいたします。
よい年になりますように！

所長あいさつ

新年あけましておめでとございます。連日、大変寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。平成23年9月、幸いにも人的被害が無かった台風12号ですが、持山橋は橋脚もろとも崩壊してしまいました。あれから2年、写真は復旧工事により3月20日に完成予定の持山橋です。今年、事故や災害などの無い平和で明るい年でありますよう、心から願ってやみませんね。本年も、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。皆様にとり、幸多い年となりますよう心から願い、年頭のごあいさつとさせていただきます。

住民税の申告 お忘れなく！

2月17日から3月17日までの間は、所得税の確定申告期間中です。
申告会場の混雑が予想されますので、住民税申告と年金収入のみの方の確定申告は
下記のとおり会場をご利用ください。

記

日時 平成26年2月12日（水） 午後2時から4時まで
場所 大杉谷地域総合センター

工事に伴う道路事情

土砂掘削運搬や道路改良工事に伴い、大杉谷地内を大型車両が行き来します。
安全運転かつ地元車両・一般車両を優先いたしますが、充分注意いただき、特に散歩
中などはお気を付けください。

また、何か不明な点がございましたら、大杉谷出張所（Tel 78-3001）や宮川総
合支所建設室（76-1713）までご連絡ください。

工事中は何かとご迷惑をおかけいたしますが、公共工事へのご理解とご協力をお願い
いたします。

町政懇談会での要望等について

昨年5月下旬から10月下旬にかけて実施しました町政懇談会において、皆様から頂いた
ご意見ご要望の対応についてまとめました。

自分が発言した要望が、どのように対応されていくのか？どんな意見や要望があったのか？
まとめた書類が閲覧できるよう出張所に備えましたので、お気軽にお越しください。

第7回美し国三重市町村対抗

駅伝大会

午前9時県庁前スタート～県営総合競技場 陸上競技場（伊勢市）
平成26年2月16日（日）

大台町チームも参加！

人口の動き（前月比）

住基人口	世帯数
267	147
(-1)	(±0)

男	女
113	154
(±0)	(-1)

新年明けましておめでとう
ございます。
本年もよろしくお願い申し
上げます。
この時期、今年一年の目標
を考える方も多くいるのでは
ないでしょうか？
私の今年の目標は「健康」
に心がける一年にしたいと初
詣にでかけました。
おいしい食事と適度な運
動、何よりストレスを貯めな
い生活に心がけていきたいと
思っています。いつも三日坊
主と言われていますので、三
月ぐらいいまでは頑張りたいで
す。

【野呂】

集落支援員について



突然の退任でありましたが、前集落支援員の荒井さんは、元気に大杉谷での新たな生活を始めました。

短い活動でありましたが、大杉谷の皆様には優しく接して頂き、とても喜んでおりました。

さて、後任ですが、しばらくの間（平成26年3月まで）は採用を見合わせようと考えております。

今後においては、集落支援員制度の継続又は廃止も含め検討を行います。

ご意見・ご要望がありましたらお寄せ下さい。

大杉谷登山道が約10年ぶりに

平成16年9月の豪雨災害から早いもので今年で10年を迎えますが、今春、大杉谷登山道が全線復旧することになりました。

当時を振り返ると登山歩道51箇所・吊橋10橋・桁橋4橋が被災し、その中でも大規模な被災箇所は、「平等岨吊橋流亡」・「光滝手前崩壊」の2箇所でした。

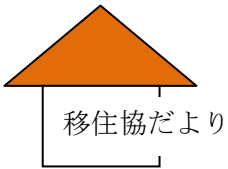
平成20年度から始まった復旧工事で、平等吊橋は平成24年3月に完成、光滝周辺の崩落地は写真のように歩道を整備し、平成25年12月に工事が終了しました。

10年という節目を迎える今年、大杉谷登山道の再開を皮切りに賑わう大杉谷を取り戻すことでしょう。

光滝周辺の崩落地



光滝



移住おためし住宅開設のご報告

大杉谷移住促進協議会では、地区の過疎化を緩和し、地域の方々が安心して生活が続けられるよう、活動を続けています。

現在リフォーム中の旧ダム管理宿舎の下棟は、地元の皆様とリフォーム塾参加者のご協力のもと、徐々に外観が出来上がりつつあります。ご支援、感謝申し上げます。



張り替えた外壁



塗りなおした座敷

下の棟は、大杉谷への移住を検討している方が1ヶ月～1年間住む「長期おためし住宅」として、この春から入居者募集を始める予定です。

上の棟は、1泊から泊まれる「短期おためし住宅」(農家民宿)として、利用して頂く計画です。(※閑散期は一般旅行者にも民宿提供)

地元の方と移住希望者の双方にうかがいますと、一番の不安は「相手がどんな人か?」「この地域で生活してゆけるのか?」という事でした。そんな不安を軽減するために「おためし住宅」を活用し、地元の方には移住希望者を移住前に見て頂く機会を設け、希望者にも大杉谷をよく知ってもらい、最終的に地域になじめる方々に定住に至って頂くのが目標です。

都市部では『田舎に残る心の豊かさ、生活の質の豊かさ』を求める新しい価値観が予想以上に広がっているようです。離れて住む大杉谷にご縁ある方の中にも田舎暮らしをお考えの方がいらっしやると思います。大杉谷もその候補としてお考えいただければ幸いです。

大杉谷での豊かな生活を続けるために、皆様のご支援ご協力を引き続きお願い申し上げます。

大杉谷移住促進協議会 (事務局 NPO法人 大杉谷自然学校内)
会長 大瀬耕二 事務 福岡美恵子
電話 78-8888 Email ijyu@osugidani.jp